

‘10年4月10日 富士山観望会

by kuma

4月10日。1年振りに富士山西臼塚に行ってきました。

この日は天気予報が微妙で行くのを迷っていましたが、夜半までは天気も何とか持ちそうな様子でしたので sekiya さんの車に便乗させてもらい現地に向かいました。

御殿場市内から富士山方向を見るとそこそこ晴れ間が広がっており、薄明の空には金星が光り輝いています。途中のコンビニ駐車場から sekiya さんの双眼鏡で見ると、金星と並んで前日に東方最大離隔を過ぎたばかりの水星も見えていました。

買い出しを済ませ 19 時頃西臼塚駐車場に到着。先着ははるパパ会長とハセガワさんの 2 名のみで、新月時だと言うのに場内には他の星屋さんの姿は全くなし。やはり天気予報の影響で皆さん回避されたのでしょうか。その後オッチェラさんとヤスさんが到着して総勢 6 名が集まりましたが、あの広い西臼塚をたったの 6 名だけと言うのも寂しいものがあります。

先着のハセガワさんがいつもの FS128 を設置していたので、私も隣に今年初登場となるドブを組み立てます。設置した後に光軸調整用のレンチを忘れた事に気付き、仕方ないのでレーザーで主鏡の調整のみ行いました。まあ最初から短時間でも見られれば良い程度のお気楽観望のつもりでしたので、細かい事は気にしません。

所々に雲の流れる空でしたが天頂～北側はそこそこ晴れています。さすがは富士山だけあって先月の湯河原と比較してもワンランク上の暗さで、5 等級程度は余裕で見えています。手始めにハセガワさんの FS で火星を見せていただくと、さすがに小さくなったものの結構シャープな姿で極冠や中央付近には黒い模様も見えています。私もドブを向けましたが、鏡が冷える前で像が安定しないながらも模様ははっきりと判りました。
※帰宅後に調べたところ、大シルティスがちょうど真ん中に見えていた時間帯でした。

押し寄せる雲の隙間を狙って土星を見ると、驚いた事に先月よりも明らかに環の開きが細くなっているのが判ります。地球との位置の関係でこう見えるのですが、一旦開いた環が再び狭くなったのを見たのは初めてです。昨年末頃の姿に戻ってしまったわけですが、好シーイングのおかげで 280 倍の串刺しの土星が楽しめました。

せっかくドブを持ってきたので DS0 を幾つか流しましたが、しし～おとめ座の M 天体は流石によく見えます。先月のメシエマラソンでの苦労が嘘のようで、DS0 はやはり口径が如実にモノを言います。M104 ソンブレロ銀河などはハロよりもダストレーンの濃さが大変印象的でした。



photo yasu

このあと残念ながら流れる雲の襲来により快曇となったため、全員で記念撮影をして今宵の観望はこれにておしまい。

結局正味 3 時間程度の観望タイムでしたが、それなりに楽しむ事が出来たのでまあ良しとします。

今月下旬には富士山スカイラインが開通するのでいよいよ五合目シーズン開幕ですね。今年も雲上を期待したいです。

了